

# 清掃活動 in 富士山 2016

2016  
9.3

2016年9月3日、今年も世界に誇る霊峰富士を次世代に繋ぐべく『富士山清掃活動』に社員15名が参加し、大沢休泊所～大沢崩れの清掃を行いました。



大沢崩れ

↓晴れていればこんな風に見えます。

→今年は霧のため見れませんでした。



昨年

今年は大きなルート変更がありました。  
例年通っていた道が、雪解け水により崩落したとのこと。  
大きく抉れた斜面に、遠くから見ると、いつも変わらずある富士山も日々変化しているのだと実感しました。



天候が心配されましたが、雨に降られることはなく、清掃活動を終えることができました。

例年どおり、大沢休泊所～大沢崩れ周辺の斜面のごみ拾いを行いました。

日々の雨等で地表に顔をだす、小さなガラス片や鉄片などのごみを回収することができました。

今年は、ルートの変化、天候共に自然への畏怖を改めて再確認する年でした。



今年



大沢崩れは見れませんでした。当社が現在行っている業務についての説明と、大沢崩れの現状の説明を受けました。

【大沢崩れの規模】

長さ 富士山頂剣ヶ峰から標高2,200m付近までの延長約2.1km

幅 最大幅約500m

深さ 最大深さ約150m

崩壊面積 約1km<sup>2</sup>

崩壊土砂量 約7,500万m<sup>3</sup>(東京ドーム約60杯分)

※崩れは依然進行中で年平均約13万m<sup>3</sup>(10t積みダンブ2万6000台)も崩壊している。